

平成29年度 全国学力・学習状況調査の結果概要等のお知らせ

平成29年4月18日（火）に、全国の6年生を対象として実施された「全国学力・学習状況調査」につきまして、その結果の概要と課題、改善の方向についてお知らせします。

札幌市では、子どもが生涯にわたって学び続けるために、自ら課題を見つけ、自ら学び、自ら問題を解決する資質や能力等の「学ぶ力」を育成することを目指しています。札幌市教育委員会では、様々な調査等を活用して、札幌市全体の子どもの現状把握や分析、改善策の明確化に取り組んでいます。

以下の資料は、本校の全国学力・学習状況調査の結果についてまとめたものです。なお、今回明らかになった課題や改善の方向は、6年生に限らず学校全体の課題としてとらえ、今後全学年を通じて改善していくものと考えています。

【小学校 国語】 教科に関する調査の結果概要及び改善の方向性等について

本校の概要

今回の調査における課題

改善の方向

主として「知識」に関する課題（A）

領域	全国平均との比較
話すこと・聞くこと	下回っている
書くこと	ほぼ同程度であるが、やや下回る
読むこと	ほぼ同程度であるが、やや上回る
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	ほぼ同程度であるが、やや上回る

- 互いの話を聞き、考えの共通点や相違点を整理して話し合うこと

- 手紙の構成を理解すること

- 目的や意図に応じて話の構成や内容を工夫すること

- 場に応じた適切な言葉遣いで話すこと

- 互いの話を聞き、考えの共通点や相違点を整理して話し合う活動と指導の充実

- 話す目的や意図に応じて、話す内容をまとめたり、構成を工夫したりする指導の充実

- 場に応じて、適切な言葉遣いで話す言語活動の充実

主として「活用」に関する課題（B）

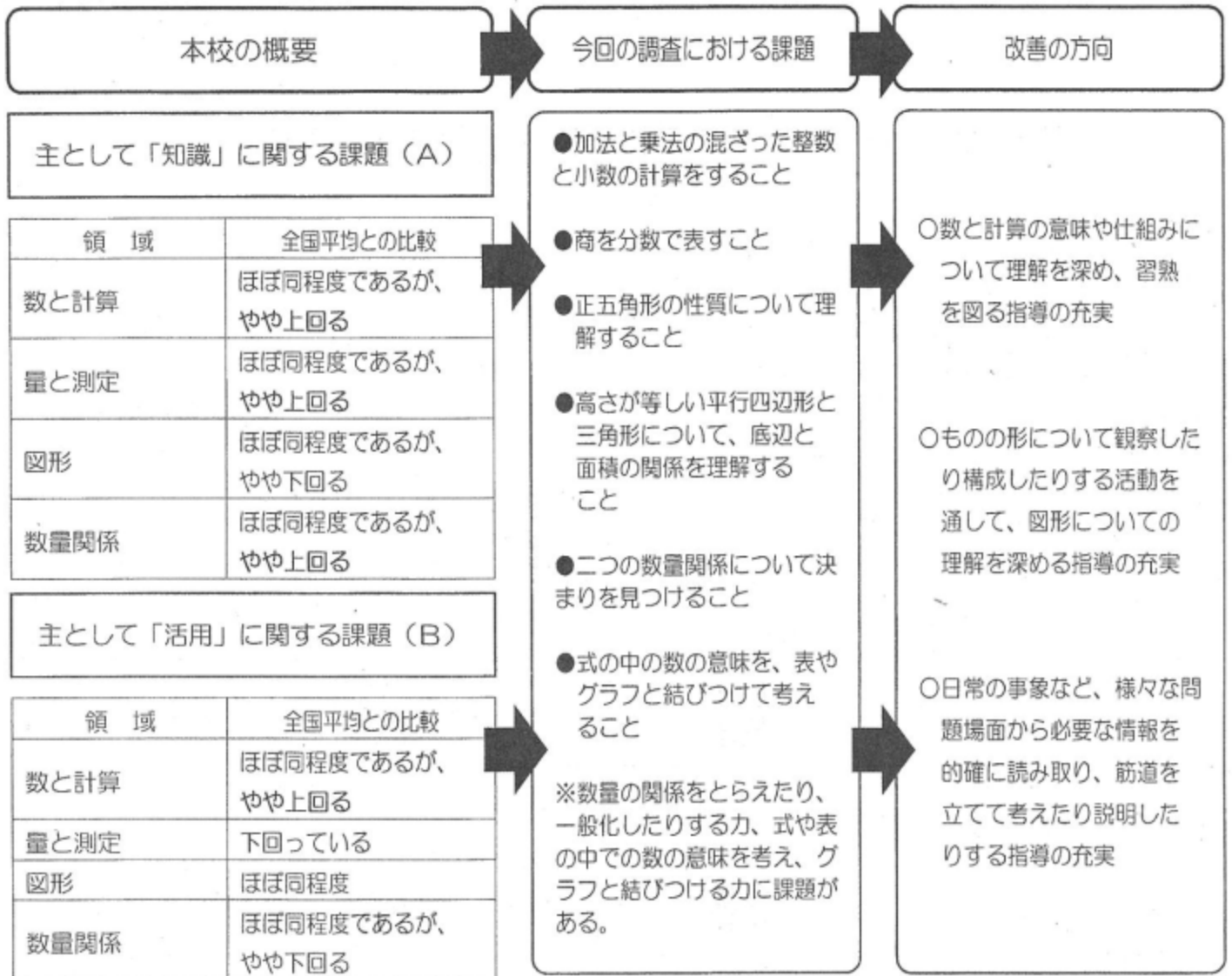
領域	全国平均との比較
話すこと・聞くこと	ほぼ同程度であるが、やや上回る
書くこと	下回っている
読むこと	ほぼ同程度であるが、やや下回る

- ※相手の話を理解し、話し合ったり、考えを話したりする力に課題がある

- ※話しあう活動や相手の話を聞く場面で、自信をもたせるように支援する

【小学校 算数】

教科に関する調査の結果概要及び改善の方向性等について



【質問紙調査】

「生活習慣や学習状況に関する調査」への回答から見た本校児童の姿

※「当てはまる」「どちらかと言えば当てはまる」と肯定的な回答をした割合が80%以上の項目

【学習に関する関心・意欲・態度】について

- ◎国語の勉強は大切だと思う
- ◎国語の授業の内容はよくわかる
- ◎国語で学習したことは将来役に立つと思う
- ◎理由がわかるように自分の考えを書く
- ◎算数の勉強は大切だと思う
- ◎算数で学習したことは将来役に立つと思う
- ◎算数の学習でより簡単な方法を考える
- ◎算数の学習で考え方をノートに書いている

【学習の基盤となる活動・習慣】について

- ◎朝食を毎日食べる
- ◎毎日同じくらいの時間に起床・就寝する
- ◎友達の前で自分の考えや意見を発表する
- ◎友達の話最後まで聞く
- ◎友達のを考えを受け止め、自分の考えを持つ
- ◎家で学校の宿題をしている

【規範意識・自尊感情】について

- ◎物事を最後までやり遂げて嬉しかったことがある
- ◎自分には良いところがあると思う
- ◎将来の夢や目標を持っている
- ◎学校の決まりを守っている
- ◎友達との約束を守っている
- ◎人が困っていたら進んで助ける
- ◎いじめはどんな理由があってもいけない
- ◎人の役に立つ人間になりたいと思う

※ ゲームやケータイの時間と成績の関係

今回の学習状況調査において、ゲームやケータイ(スマホを含む)をする時間が短い児童の程、成績が上位の児童が多いという結果が見られました。ゲームやケータイ(スマホ)を長く行くと、家での勉強時間が減ります。当然、成績にも影響が生まれるものと推察できます。

学校では、ケータイ依存などの危険性やネットトラブルなどの情報モラルの指導を随時行っておりますが、ゲームやケータイ(スマホ)を使用するときは、約束事を決めるなど、ご家庭での協力も欠かせません。どうぞよろしくお願いたします。